

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

いずれにしても、日本人の「働きすぎ」という問題は、根が深い。「勤勉」というのは、美徳だが、「働きすぎ」というのは、美徳であるはずがない。私たち日本人は、大正時代から今日まで、そのことについて「真剣に反省した」ことは、一度もない。それにしても、なぜ日本人は、働きすぎてしまうのか。本章までの考察を踏まえただけでも、何とか、その理由は説明できそうである。以下、「中間まとめ」を兼ねて、いくつか、その理由を挙げてみよう。

明治の近代化以降、「勤勉」ということが、あまりに強調されてきたことである。江戸時代の農民が、必ずしも勤勉とは言えなかったことは、すでに確認した通りである。また、明治期に入っただけのちも、多くの農民が「勤勉化」するのは、明治三〇年代に入ってからのことであった。しかし、その一方で、江戸時代には、武士階級に属する人々などの間に、勤勉を尊ぶような規範意識が保持されてきた。また、江戸中期以降、真宗門徒の間に、「勤勉のエートス」が生まれ、これは明治以降も引き継がれた。さらに、明治の開国と同時に、福沢諭吉らの啓蒙思想家が、欧米的な勤勉イデオロギ―を広めた。明治政府もまた、明治中期以降、二宮尊徳という思想家を復活させるなどして、国民の間に、「修身」的な勤勉イデオロギ―を浸透させていった。このように「勤勉」が強調された結果、「勤勉」と「働きすぎ」が混同され、「働きすぎ」を、「勤勉」の一態様として、肯定的に捉えるような状況が生じたことである。このことに関しては、「二宮尊徳二時間睡眠」神話の影響力も、否定できない。厳しい生存競争に直面している農民や、厳しい労務管理の下にある労働者が、やむなく「働きすぎ」に陥る状況に対し、歯止めになるような方策が存在しなかった。あったとしても、十分に機能していなかったことである。

※作問の都合上、改編・省略した箇所があります。

（磯川全次『日本人はいつから働きすぎになったのか』より）

語注

- ・規範意識：判断・評価または行為などの基準として考えること。
- ・真宗門徒：浄土真宗を進行する人。
- ・エートス：道徳的な慣習・雰囲気。
- ・福沢諭吉：明治時代の思想家。著書に「学問のすゝめ」などがある。
- ・啓蒙思想家：一般大衆に教育を施すことで、貧困や無知から脱却できると考える思想家のこと。
- ・二宮尊徳・二時間睡眠神話：幼名は、金次郎。江戸時代後期の日本を代表する「勤勉家」・睡眠時間を二時間しか取らずに働いていたという伝説。

《設問》

問一 この文章は、「第七章 なぜ日本人は働きすぎるのか」の一部です。この文章を参考に後の語群の語句をすべて用いて、きみが考える「日本人が働きすぎる理由」を、筆者が考える理由の数を明らかにして八〇字程度で述べなさい。（ただし、指定された語句はどのような順序で用いてもかまわないものとする）

・肯定的 ・厳しい ・勤勉 ・方策 ・強調 ・美徳 ・歯止め ・混同 ・イデオロギ―

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

【ここまでのお話】
エルフは、若くて、強くて、すばらしく大きなオスのだちょうです。草原でだちょうの仲間たちや、他の動物たちと楽しく暮らしています。そんなある日、エルフたち危険が迫ります。ライオンがやってきたのです…

「みんな はやく にげるんだ。ライオンは ぼくが ひきうけるっ。」エルフは すっと くびを のびして ライオンの まえに たちはだかりました。ライオンは うしろあしで たつと、エルフめがけて つかみかかりました。エルフ がんばれ。エルフは うまのように つよい あしで、ライオンを けり、おのより こわい ぐちばしで つつきます。ライオンは すりどいするどい きばと つめで エルフの からだを いまにも ひきさきそうです。ギャオー ワオー あたりの 小えだや くさが とびちり、もうもうと たつ すなけむりの なかで、エルフが さいごに けった いっぱいが きいたのか、ライオンは よろよろしながら おかの むこうへ かえって いって しまいました。
「わーい、 かった かった。①ぼくらの エルフ。」
「えらいぞ エルフ。」「つよいぞ、 ぼくらの エルフが かった。」 みんなは、おどりがあつて よろこびました。ところが たたかった エルフに ちかづくこと、たいせつな エルフの あしの いっぱんが、くいちぎられてしまったのです。「みんな ぶじで ほんとによかった。」 それだけ いうと、 しずかに そのそばへ うずくまってしまいました。
それから くさはらは また、へいわな 日が つづきました。けれども、②エルフにとっては、くるしみの日が始まったのです。はじめのうちは、いのししが 木のねを、しまうまは くさを、なかまの だちようは 木のはを わけてくれました。けれども それぞれ じぶんたちの かぞくの ことだけでも たいへんなのです。③エルフは 日がたつにつれて、 なんとなく みんなから わすれられて いきました。 みんなにとつては、 あかるい おひさまも、 エルフには ただ あつく、 くるしぎます。 まわりには、 だんだん たべものが なくなっていくます。 ひよこたん、 ひよこたん 一日に、 いくらか、 あるけない エルフは、 ひからびた 木のねっこや、 なにかの ほねや 石ころなんかを たべて すごす 日のほうが おおくなりしました。そのせいか、 せいばかり たかくなってしまいうようでした。
エルフは もう このごろは、 一日じゅう ひとところに たったまま、 じつと 目を つぶっているばかりでした。 なみだが、 ひとつぶ、 かわいた くちばしをつたつて、 ぼつんと あしもとの すなに すいこまれました。 いまの エルフにとっては、 子どもたちの あそんでいる こえを きいていることだけが なぐさめなのです。

ある日、 エルフが まひるの そらを うとうとながめていたときの ことです。 とつぜん、 森のはずれに、 なにか くろいものが はしりました。 あっ！ 「くろひようだぞー。」 エルフは かすめるこえで、 さけびました。「わーっ、 こわーい。」 みんなは、 いっせいに にげましたが、 おくれた 子どもたちが、 ねらわれました。 エルフは、 じぶんのからだの ことなど、 わすれて、 なんとか たすけてやらないと、 おもいました。 けれど、 もう まにあいません。「みんな、 ぼくの、 せなかに のれっ。」 子どもたちは、 むちゅうで、 エルフの、 せなかに、 はいあがり、 ました。 くろひようは、 まっかな、 口を、 ひらいて、 とびかかってきました。 エルフは、 からだを、 かたくして、 じつと、 がんばります。 その、 ちからづよい、 かおを、 みていると、 みんなは、 なんだかと、 おもえました。 いえ、 ほんとうに、 エルフは、 大きくなっていたのです。 くろひようが、 いっぱんの、 あしに、 とびついても、 そのたびに、 くちばしで、 めだまや、 はなを、 つつかれるので、 ばたんと、 じめんに、 おちてしまうのです。 エルフは、 さいごの、 ちからを、 ふりしぼつて、 たたかいます。 せぼねは、 みんなの、 おもみで、 いまにも、 おれそうです。 いっぱんあしには、 くろひようの、 きばと、 つめで、 ちのすじが、 いくつも、 できました。 くろひようは、 さんざん、 いためつけられて、 よっぱらいのように、 ふらつきながら、 にげていって、 しまいました。「たすかったー。」 「ばんざーい。」 ④みんなの、 こえが、 ゆめのなかで、 きこえたような、 きがしました。そして、 だんだん、 きがとおくなつて、 なにも、 わからなくなつて、 しまいました。 子どもたちは、 たかい、 エルフの、 せなから、 やつと、 おりました。「エルフ、 ありがとう。」 と、 さけんで、 ふりあおぐと、 みんなは、 あつと、 おどろきました。 そこには、 かたあしの エルフと、 おなじ、 かっこうで、 すばらしく、 大きな木が、 そらに、 むかつて、 はえていたのです。 そして、 エルフの、 かおの、 ちようど、 ま下あたりに、、 きれいな、 いけが、 できていました。 そう、 エルフの、 なみだで、 できたのかも、 しれませんね。

⑤木になった エルフは、 その日から、 のはらに、 一年じゅう、 すずしい、 木かげを、 つくり、 どうぶつたちには、 いずみのまわりで、 いつも、 たのしく、 くらしました。

（おのき がく 『かたあしだちょうのエルフ』より）

※作問の都合上、省略・改編した箇所があります。

《設 問》

※すべての問の制限字数には句読点・符号を含むものとする。

問一 この文章から読み取れる「エルフ」の性格を三十五字以内で簡潔に書きなさい。

問二 線部①「ぼくらの エルフ」とありますが、子どもたちはエルフに対して、どのような気持ちを抱いていると考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問三 線部②「エルフにとっては、くるしみの 日が始まった」とありますが、なぜですか。その理由を「かたあしでは」に続くように、三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問四 線部③「エルフは、日がたつにつれて、なんとなく、みんなから わすれられて、いきました」とありますが、なぜ「わすれられて」しまったのですか。その理由を三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問五 線部④「みんなの こえが、ゆめのなかで、きこえたような、きがしました。そして、だんだんきがとおくなつて、 なにも、わからなくなつて、しまいました」とありますが、このとき、エルフにどのような「変化」が起こっていたと考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問六 線部⑤「木になった エルフ」とありますが、この部分について、つぎのＡ・イの各問に答えなさい。

ア 「木になったエルフ」は、どのような気持ちでいると考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。
イ エルフが「木になる」ことを予感させる表現を文中からさがし、一文で書き抜いて答えなさい。